

科学技術イノベーション総合戦略 2014のフォローアップについて

平成27年4月10日
内閣府政策統括官
(科学技術・イノベーション担当)

科学技術イノベーション総合戦略2014のフォローアップ

目的

総合戦略2014に基づく施策に関するフォローアップを行い、次年度総合戦略へ反映させる。

取組方法

1. 平成27年度概算要求資料提出前に、各府省を集めて予算戦略会議等を開催し、総合戦略2014の実行に向けアクションプラン等を策定。
 - 1 戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）を補完する施策、課題解決を先導する府省連携施策を重点化対象とした。
 - 1 科学技術イノベーションに適した環境創出に係る施策をパッケージ化した。
2. 秋以降、重要課題専門調査会を開催。産学からの100名規模の有識者により、総合戦略2014をレビュー。この議論に各府省担当課長も参画。
また、イノベーション創出のための環境整備の進捗に関する調査検討を実施。

科学技術イノベーション総合戦略2014のフォローアップ

まとめ

1. 総合戦略2014のアクションプランによる各府省誘導の検証（別添1）
 - － 総合戦略2014がアクションプランによってどの程度誘導できたのかについて検証し、その課題として挙げられた、府省連携の在り方、各省施策の全体俯瞰による社会実装までのシナリオ構築方法について議論。
2. 産業競争力強化を含めたバリューチェーンのシステム化について議論（別添1）
 - － 上記の検証の結果を踏まえ、ありたい姿を実現するため、「日本の強みを生かしたバリューチェーンのシステム化」が重要であると認識。各分野の専門家を一堂に会し議論。
3. 総合戦略2014に基づく各府省アクションプラン特定施策のPDCAの確認・助言（別添1）
 - － 各府省アクションプラン特定施策における有識者からの助言や予算案決定を踏まえたH26年度成果とH27年度取組内容を確認し、PDCAを実行。
4. 総合戦略2014の科学技術イノベーションに適した環境創出に関する取組の進捗の確認（別添2）
 - － 有識者からの助言や予算案決定を踏まえた各省施策の進捗状況の確認を実施。
 - － これを踏まえ、次期科学技術基本計画における中期的な方向性を見据えた議論を進める中で、基本計画や今後の総合戦略に活かしていく。
 - － また、施策群の進捗や効果を把握するための指標について具体化を図ることが重要。

なお、「国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現」については、健康・医療戦略推進本部が行うPDCAを通じてフォローアップを実施。